

法政就業力通信

～今月のさんぽ道～

法政大学
「就業力を育てる3ステップシステム」
プロジェクト
<http://3step.hosei.ac.jp/>

就業力を育てる3ステップシステム

今年度のキーワードは「協働・コラボレーション」

特任教員 鈴木 美伸（すずき よしのぶ）



新年度が始まり、大学はもっとも活気に溢れている季節です。昨年の大震災の混乱がおさまらぬ中でスタートした我々プロジェクトチームも様々なノウハウを蓄積し、このニューズレターもお陰様で創刊して1年がたちました。今年度も全力を尽くして活動し、皆様にご報告していきたいと思えます。

ビデオ教材のリリース

今年度、私が活動指針としているのは、掲題の「協働・コラボレーション」です。これは昨年度の活動で得られた知見を、学内・学外の方々と共有し、若者の就業力育成事業を、広く社会に展開していくことです。具体的には、就業力の育成教材やアセスメントツールの開発・提供です。

このニューズレターでもご報告して参りましたが、就業力育成ビデオについては前期から、アセスメントツールについては後期から、利用を希望される大学関係者へ提供して参ります。ビデオは2本ありますが、第一弾のダイジェスト版を下記サイトに公開致しました。是非ご覧戴き、ご関心を持たれましたらご遠慮なくお問い合わせ下さいませ。このビデオ教材はシリーズ化し、今後もリリースしていく予定です。

▼就業力育成教材ビデオ-1「ハタラクチカラ(社会人1年目の現場)」

<http://3step.hosei.ac.jp/news/details/2012/04/18/id1400>

産学連携へのチャレンジ

このビデオは文部科学省の就業力育成支援事業予算で作成したものです。周知の通り、突然の通達で今年度から廃止となってしまいました。こんな逆風の中でビデオ作成を継続するために、私は有意の大学・民間企業の協力をお願いしたいと考えております。若者の就業力育成は、もはや大学だけの問題ではなく、広く社会の問題、更にはグローバル競争をリードすべき日本国の喫緊の課題です。そうした志に共感して戴ける大学・企業を募り、産学連携教育の一事業として継続していきたいと思えます。

元気は出すもの、楽観は意志、失敗は財産になる

私は新学期の初回の講義でいつも学生に伝えている3つの言葉があります。それは、元気は貰うものではなく出すもの、楽観は性格ではなく意志・能力であること、そして新たなことへのチャレンジによる失敗は財産になる、ということです。厳しい環境の時に出来る元気や笑顔こそが本物です。

学生に話している言葉を行動にして示すこと、それが就業力育成に関わる教員の、活きた教材提供になると信じて取り組みます。

略歴

84年成城大学法学部卒。

日米ハイテク企業での営業・人事を経て人事コンサルタントとして独立。キャリアカウンセラー資格取得後は多くの大学でキャリア論の講師を務める。

e-mail:

ysuzuki@stage41.com

yoshinobu.suzuki.88@hosei.ac.jp

研究室は新見附校舎2F



略歴 84年名古屋大学大学院卒。京都大学博士(経済学)。84～89年京都大学経済研究所助手。90～97年滋賀大学経済学部助教授・教授。97年～03年法政大学経営学部教授、04年～IM研究科教授。

我が子を安心して通わせられる大学になるために

教授 藤村 博之 (ふじむら ひろゆき プロジェクトリーダー)

本学が取り組んでいる就業力育成の考え方を父母のみなさんにご説明すると、とても共感して下さいます。「これなら、安心して我が子を大学に行かせられます」とおっしゃって下さいます。それは、講義、ゼミ、演習などを受けることが働く力の育成につながる点を重視した取り組みをしているからだと思います。

昨年度の初め、私が各教授会をまわって、教員のみなさんに講義・ゼミと就業力の関係を説明しました。賛同して下さる先生がたくさんおられました。「自分たちが行ってきた教育の意義を再確認できた」という声をいただきました。今年度も近々、教授会をまわって、昨年度の取り組みと今年度の方針を説明する予定です。

研究する際に必要とされる方法論は、学問分野にかかわらず就業力と結びついています。自分の頭で考えて行動する人材の育成に向けて、今年度も取り組んで参ります。



略歴 法政大学大学院経営学研究科キャリアデザイン学専攻(修士)卒業後、法政大学大学院政策創造研究科博士後期課程に進学。2011年3月、同博士課程中退。

「ブラックを考える、ブラックから考える」

特任教員 白井 章詞 (しらい しょうじ)

新入生と話をしてみると、大学生活への期待とともに、将来の就職活動に対する不安が聞こえてきます。ただ、彼らと話をしていると面白いと感じることは、10年後の姿を語ってもらうと「仕事にやりがいを感じてバリバリ働いている」といった声が非常に多いことです。仕事を、とてもキラキラしたものと思え、やりがい、達成感、充実、といった言葉で説明します。大学の講義において、社会人ゲストや卒業生を招くと、そういったイメージが一層強化されることでしょう。今年、就業基礎力養成Iでは、あえて「ブラック企業」をお招きし、過酷な労働の実態に迫ってみたいと思います。働くということを多面的に考えると同時に、もし、人間としての尊厳を傷つけられる、心身の健康が保てなくなるような職場環境であれば、どう行動するのかを考えていきたいと思っています。



略歴 70年慶応義塾大学経済学部卒。70～06年伊藤忠商事(株)勤務、06～11年帝京大学と法政大学職員。11年～法政大学教員

「今すごく幸せです。オレ、頑張ってる働いてきます。」

特任教員 有田 五郎 (ありた ごろう)

入社式に向かう教え子からのメールが届いた。この仕事をしていて本当に良かったと感じる嬉しい瞬間だ。私は最初の授業で担当課目の到達点として、「今がいちばん良い」と言える人生を歩むことと説明している。それを実現し実感している彼の活躍に期待する。新年度を迎えて多くの人が不安を感じつつ新しい環境に立ち向かう。是非自分を信じて、前向きにチャレンジして欲しい。大学での学び・集い・仲間との協力が自分を成長させる。学生・教員双方が「書く」・「情報を集め・選ぶ」・「まとめて発表・発信する」の要素を一つ一つの授業から身に付けるという意識を共有して授業に取り組みたい。

◆ ビデオ教材(ダイジェスト版)をホームページに掲載しました。

鈴木講師からご案内いたしました通り、かねてより制作しておりました働く場面を実感させるオリジナル教材ビデオが完成いたしました。ダイジェスト版が当プロジェクトホームページでご覧になれます。旅行代理店入社1年目の女性営業職が主人公の物語です。

大学の講義でお使いになりたい方のために本編DVDをお送りする準備をしております。

ご希望の方は、氏名、所属、送付先をメール(3step@ml.hosei.ac.jp)にてお知らせください。5月下旬発送の予定です。

◆ 編集後記

「ブラック企業」って何？そういう方は『ブラック会社に勤めているんだがもう俺は限界かもしれない』(黒井勇人/新潮文庫)を一読ください！(断っておきますが就職活動の役には立ちません)。さてこの春、当事務局も人事異動があり、担当課長が菊池課長から平山課長に代わりました。平山課長の人となりを紹介したいのですが紙面も足りませんので、次回からこの欄を託して、自ら語ってもらおうと思います。1年間、私の拙い文章にお付き合いいただき、ありがとうございました。

〈事務局にはまだ居ます: 細田〉

「就業力を育てる3ステップシステム」プロジェクト(事務局:学務部教育支援課)

〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1

TEL:03-3264-9520 WEB:http://3step.hosei.ac.jp/

就業力を育てる**3ステップシステム**